

内藤電気(株)

総合電気工事 シャープ太陽光発電システム登録店
京都府知事登録 第207004号

京都府綴喜郡宇治田原町立川北垣内44-6

TEL.0774-88-5051 FAX.0774-88-6339

☎ 0120-095-051

【阪神営業所】兵庫県西宮市今津曙町9-14

TEL/FAX.0798-22-5911

http://www.naitou-denki.jp/

対談

代表取締役

総務

税務・営業担当

インタビュアー

内藤 哲也・絵里加・秋山 憲治 × 梅田 淳

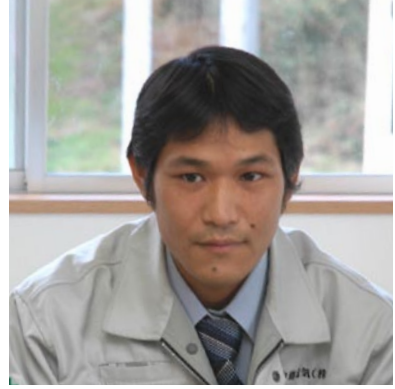
【フリーアナウンサー(元関西テレビ)】



INTERVIEW

TETSUYA NAITO・ERIKA NAITO・KENJI AKIYAMA × JUN UMEDA

オール電化と太陽光発電を普及させ、クリーンな未来の創造に貢献したい



梅田 オール電化と太陽光発電を手掛けておられる内藤電気(株)さん。環境に配慮しなければどの業界も生き残れない時代になりましたが、太陽光発電は新しいエネルギーとして世界的に注目されていますね。

内藤 石油の大量消費で地球温暖化が進むと、子供達に豊かな未来を残してあげることができません。それだけに個人が環境への意識を高めて温暖化に歯止めをかけることが大切です。当社は一軒一軒の住宅に太陽光発電を提案することで少しでも環境問題とかかわり、未来を担う子供達のために豊かな環境を整えたいと考えています。

梅田 では、会社設立からこれまでを振り返って頂けますか。

内藤 十五歳の時、滋賀県にある親戚の電気関係会社に就職した私は、資格取得を含めキャリアアップを図ってまいりました。そして平成十五年に独立して個人住宅への太陽光発電、それに付随したオール電化の取り付け施工を主に行なっています。

梅田 最初は一人で独立されたのですか。
内藤 ええ、二十四歳で会社を立ち上げて二年後に法人化しました。その後、業績の推

移を見ながら財務担当など社員を採用した次第で、お陰様で現在は十人に増えました。ちなみに独立後に結婚した家内には経理面を手伝ってもらっています。また、西宮市に営業所を設立するなど阪神方面へのビジネス展開を図っています。今後も各地に営業所を開拓して太陽光発電やオール電化のメリットを提唱していきたいと考えています。個人の住宅をターゲットにした小規模の会社ではありますが、これらのシステムを少しずつ普及させることで、ささやかな環境保全に役立ちたいですね。

梅田 二十代で独立を果たされたとはバイタリティーにあふれていますね。さて、昨年九月以降の金融危機の影響で景気は急速に冷え込んでいますが、御社への影響はいかがですか。また、それを乗り越える方策についてはどうにお考えでしょうか。

内藤 確かに消費は下降の一途を辿っているという感じはあります。オール電化や太陽光発電がいくらか良いシステムでも、今の世の中それだけで注文して下さるお客様はいらっしやいません。私どもとしては環境に負荷を与えないこと、取り付け費用が掛かっても長い目で見れば経済的な装置であることなどを単に説明するだけではなく、具体的なデータや身近な例を用いながらお客様に分かりやすく納得してもらえよう訴えかけなければならぬと思っています。お客様の喜ぶ姿が見たい。スタッフ一同そのような気持ちで日々の仕事に取り組んでいるのですよ。

梅田 環境に貢献できるシステムということで、施工する側もやり甲斐が生まれるで

しょうね。スタッフの皆さんも生き生きと働いておられるではありませんか。

内藤 工事が終わった後でお客様から「ありがとう」の言葉を頂く時が一番嬉しいと、スタッフ全員が口を揃えて言います。平均年齢二十八歳の若い会社ですが、彼らのやり甲斐が新たな仕事のエネルギーに結びつくことを大いに期待しているのですよ。

梅田 皆さんの若さあふれるパワーが、冷えたんだ景気を少しでも打開することを期待したいですね。ところで、社長もスタッフの皆さんも同世代になるわけですが、経営者として日頃お話しになっていることは。

内藤 私自身「前進あるのみ」をポリシーにここまでやってきましたから、スタッフにもその姿勢を貫いてほしいですね。不況でもその考えに沿って行動すればきっと道は開けるはずですよ。また、周囲への配慮も忘れてはいけません。当社が業績を保つてこられたのは、関西電力さんを筆頭にあらゆる企業や個人の方々の温かい協力があったからこそと思っています。ですからやり甲斐と同時に感謝の気持ちを常日頃から持ってもらいたいですね。

梅田 若いパワーでスピード感を武器に取り組めるのが御社の特長だと思えますが、今後の課題についてはどのように認識されていますか。

内藤 スタッフの勢いで今以上に仕事を増やしてお客様に喜んで頂きたいと思っておりますが、それには中小企業に対する国の支援が必要です。政策的な手厚いサポートがもらえれば雇用を拡大する考えもありますので、そのあたりを理解してもらおうのが私の課題だと肝に銘じています。

梅田 太陽光発電は日本が開発したわけですが、応用が進んでいるのはヨーロッパだと聞きます。日本がもう一度リーダーシップを取るにはどんな戦略が必要でしょうか。

内藤 自治体、メーカーさん、そして私どもが一体となって真摯に取り組まなければドイツなど先進国には敵わないと思います。設置費用などの諸問題をクリアして提案しやすい太陽光発電に進化させていくことを期待していますし、そのためには私どもも精一杯の努力を惜しみません。感動と喜びを与えられるようなシステムを今後も提唱し続けたいですね。

梅田 あらゆる面で頼もしい存在だと感じました。未来へ大きく羽ばたいて下さい。

① INFORMATION



オール電化・太陽光発電のことなら内藤電気(株)へ！



内藤電気(株)を支える若いスタッフ達